

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和3年度 第1回加須市スポーツ推進審議会
開催日時	令和3年8月5日（木）13時30分から14時42分まで
開催場所	加須市民体育館 2階 卓球室
議長氏名	市川 邦夫
出席委員	市川 邦夫、折原 登、関原 紀子、柳 肇、藤原 豊、鈴木 君恵、黒川 正男、小林 貞子、森澤 由希、小野田 靖
欠席委員	秋葉 正之、塚本 直樹、村田 芳子、加藤 智子、古峰 孝
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 加須市スポーツ推進計画各事業の評価について 4 閉会
会議資料の名称	・資料1 加須市スポーツ推進計画 令和2年度進捗状況等について（報告） ・資料2 加須市スポーツ推進計画の進行管理 令和2年度の実績と評価
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	スポーツ振興課長 石川 達雄
事務局職員職・氏名	生涯学習部長 江原 千裕、スポーツ振興課長 石川 達雄、同課主幹 松井 善人、篠塚 隆司、柳澤 真弓、鈴木 義博
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	—

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	1 開会 松井主幹
	2 あいさつ 渡邊教育長、市川会長
	3 議題
議長（市川委員）	加須市スポーツ推進計画各事業の評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「加須市スポーツ推進計画各事業の評価について」説明）
（藤原委員）	資料2の22ページ37番、学校いきいきステーション事業で「学校応援団の部活動への協力回数」というところで各中学校の数が出ておりますが、加須西中、大利根中が突出した数字になっておりますが、中学校ごとの種目数が分かれば教えてください。それと、特にこの加須西中と大利根中についてはどんな協力をいただいているのか、もし分かれば教えてください。
（石川課長）	<p>加須西中の状況は把握しておりませんが、大利根中学校については卓球女子です。市民の方が、毎日のように来ているというお話は聞いております。</p> <p>今後、内容を示す時にどのような種目がどれくらいということも含めて記載させていただきたいと思います。</p> <p>加須西中については後で調べて報告させていただきます。</p>
（黒川委員）	<p>資料2の14ページ14番、高齢者の体力づくりが未着手という形になっておりますが、健康医療推進課の方でも加須市では誰もが健康に暮らせる健康づくり宣言都市という形で高齢者に対しての健康寿命のまちづくりというようなことを謳っていたと思います。そのようなことを考えた中で、体力年齢の若返りを図ろうという項目が入っており、体力の年齢を69歳から61歳までに何とか下げようとか、あるいは医療費を38万円から何とか28万円に減らそうとか、そういうような項目が書かれたように記憶しております。</p> <p>そのようなことを考えながらスポーツ振興課といいき健康長寿課とこういうところの兼合いを考えながら我々団塊の世代が非常に多くなってきている段階において体力向上を図り、医療費あるいはその他の健康事業、そういうものをどのように関連付けるのかいいき健康長寿課の方で統計をとってお互いが共有してスポーツ振興課の方で考えているのか説明をお願いします。</p>
（石川課長）	第1次計画でスポーツ普及推進事業の中の高齢者の体力づくりはスポーツ振興課で行う事業ということで当初つくられましたが、ス

	<p>ポーツ振興課の中で高齢者だけを対象にした事業を行っていないということでこれは未着手です。例えば市全体に目を向けますと、健康づくり推進課や高齢者福祉課といったところで高齢者を対象とした事業が多くやられており、第2次計画の中では実態に合わせた形で筋力アップトレーニング事業ですとか、生活習慣病予防事業、元気はつらつ介護予防事業といったものを推進計画の中に盛り込ませていただきました。より実態に合わせた形に第2次の計画を合わせてということでご理解をいただきたいと思います。</p>
(黒川委員)	<p>それに伴ってこの評価を見ますと、指導者が2名研修に行かれていますと書かれておりますが、今後、総合的な指導者あるいは若者でも結構ですが、そのような指導に対する取り組みの充実を今後も行っていけるのかどうか、あるいはそういうように積極的に進められるのかどうかお聞きします。</p>
(石川課長)	<p>今後につきましては、スポーツを推進する上で指導者は重要になりますので積極的に推進しているところでありますが、中々できてないというのが実態です。それとは別に、スポーツ推進員さんの中で障害者の指導資格を2人とられている方がおりますが、今年度はコロナによってどうなるのかわからないですが、ボッチャなどのパラスポーツといった障害者も含めたいろいろな人ができるスポーツの推進をやっていきたいということでお話は今進めさせていただいております。そういった中で高齢者や障害者などいろいろな方ができるスポーツをスポーツ推進委員さんと連携してやっていきたいと考えております。</p>
(小野田委員)	<p>先ほど14ページの高齢者の体力づくりというお話が出ましたので補足的に説明をさせていただきます。</p> <p>8ページ10番に筋力アップトレーニング事業ということで書いてございます。これにつきましては、昨年この筋力アップトレーニングをする養成講座をコロナの影響ということで中止にしておりました。ただし、令和2年度の取り組み内容ということで、修了生が自主活動グループで活動を継続できるようということで後方支援を行っており、自主的に活動している団体が38団体ございます。そのうち36団体が後方支援ということで、職員が出向きその感染対策などを含めた後方支援を実施しております。</p> <p>大体これまでに1,400名がこの養成講座に出られており、うち700名が参加をしているという状況で、コロナにより実際には養成講座はできなかったのですが、そういう方々がトレーニングをや</p>

	<p>られているという状況でございます。</p> <p>先ほど質問があった項目、14ページの14番の成果のところは高齢者触れ合いサロンで転倒防止体操というのもあったのですが、去年はコロナ禍で中止になりました。自主的に活動されてる方もおり、どうしてもやったほうが良いという要望が出ました。高齢者のワクチンの接種もほぼ完了しておりますので、令和3年度につきましてはそういう要望にお応えしまして、9月から再開する予定でございます。</p> <p>高齢者への取り組みを進めているということで補足で説明をさせていただきます。</p>
(折原委員)	<p>18ページの25番のスポーツ指導者の養成について、スポーツ指導者ってというのは、何かのこの資格を取らないとできないということですね。ただ単に、スポーツを指導することじゃなくて、それなりの資格を持った方を指導者としているわけですか。</p>
(石川課長)	<p>これは、スポーツ協会の中でその資格を取得するために必要な費用の一部を負担するという方の人数を拾っておりますので取らなければいけないということではないですが、今後それぞれのスポーツ団体さんの方で競技を充実していくといった中で必要があれば積極的に取っていただきたいというようなものになるかと思えます。</p>
(折原委員)	<p>スポーツは怪我がつきものですが、やはりそれなりの資格を持った指導者を養成していかなければならないという感じがします。</p> <p>それから、少年野球審判の資格については、自腹でとっているという話をききますが、そういったものに対しても、市の方から若干の助成があってもしかるべきではないかという感じがします。</p>
(石川課長)	<p>野球の方に関しましては、加須市として女子野球を推進してる中で、いろいろな大会にも協力いただいているというところもありますんで、スポーツ協会として出せるものなのか市として出したほうがいいのかも含めてスポーツ協会の方とも相談したいということで考えております。</p> <p>少年野球などスポーツ少年団としてそれぞれ資格をちゃんと取って指導しているという状況になりますが、こちらの数字はどちらかというとスポーツ協会に加盟している団体さんの方の大人のスポーツの中での資格というような形になります。</p>

(市川会長)	<p>私の方から少し説明をさせていただきます。</p> <p>スケートボードは若者の間で流行っており、オリンピックでも金メダルを取っているということでスケートボードの盛んな時代になりつつあります。</p> <p>私の方に依頼がありまして、スケートボードのボードスポーツ協会という会がありますが、子どもたち30人位で指導者が10人から15人位、指導者資格も自分で取得した指導者がいる訳ですが、私どものスポーツ協会に入るメリットデメリットなどを尋ねられ、会場へ赴き説明をさせていただきました。</p> <p>今後の推進事業としては、スポーツ少年団やスポーツ協会としても推進できるのではないのかと思いますが、スケートボードに対する一つの推進というのがすごく盛んになっているということをご話させていただきました。</p>
議長（市川委員）	これで本日の議事は全て終了いたします。それでは、議長の役目は終わらせていただきます。
事務局	ありがとうございました。これで本日の審議会は終了させていただきます。
	4 閉会
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和3年 2月 11日</p> <p style="text-align: right;">署名 <u>市川 邦夫</u></p>	